

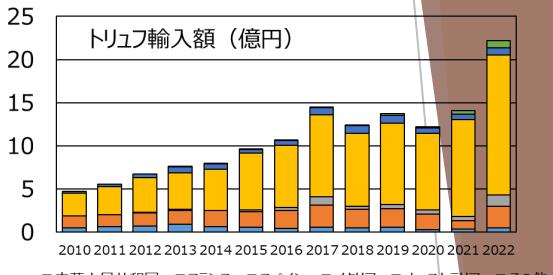
プラットフォーム名：地域創生に資する森林資源・木材の需要拡大に向けた研究開発プラットフォーム  
コンソーシアム名：国産トリュフ林地栽培研究コンソーシアム

## 国産トリュフの林地栽培に向けての技術体系の実証

### 研究の目的（背景）



**トリュフ**—西洋料理に欠かせない高級食材となる菌根性きのこ



近年、輸入額が4倍に増加

国産種トリュフ栽培技術の開発を目指す

### 成果

#### 【R4～R6】イノベーション創出強化研究推進事業（応用研究ステージ）



国産白トリュフ（ホンセイヨウショウウロ）植栽試験地で子実体の発生を確認（2022年11月）



国産黒トリュフ（アジアクロセイヨウショウウロ）植栽試験地で子実体の発生を確認（2023年10月）

#### 【R7～R9】オープンイノベーション研究・実用化推進事業（開発研究ステージ）

##### 研究内容（実施体制）

###### 中課題1

###### トリュフ苗木生産評価システム構築



信州大学  
長野林総セ  
森研究・  
整備機構

遺伝情報に基づく評価  
【特願2024-200794、  
特願2024-200809】

###### 中課題2

###### トリュフ栽培実証試験



耕作放棄地活用  
森林研究・整備機構

###### 技術パンフレット作成



信州大学  
長野林総セ  
森研究・  
整備機構

##### 期待される効果・貢献

- ・トリュフ栽培事業による農山村地域の活性化
- ・国産の新規食材の流通による食品加工業や外食産業の発展

【連絡先】国立研究開発法人森林研究整備機構森林総合研究所  
E-mail: yamanaka\_takashi120@ffpri.go.jp

本研究は生物特定産業研究支援センター「オープンイノベーション研究・実用化推進事業（課題番号：04008B1c3）」により実施している